

SAMPLE

特集レポート No. 062

定額音楽配信サービスの動向

Strictly Confidential

 Info Mart Corporation

2017年 6月28日

はじめに

- スマートフォン、高速データ通信の普及などを背景に、定額音楽配信サービスが人気となり、利用者数が急速に増加している
- ただ、海外の定額音楽配信サービスの利用状況や国内の動画配信サービスの利用状況と比べると、日本の定額音楽配信サービスの利用は遅れている
- 本レポートでは、日本で定額音楽配信サービスが海外と比べて遅れている理由を明らかにするとともに、定額動画配信サービスが定額音楽配信サービスに先行して普及している日本の状況に注目し、あわせて定額音楽配信サービス大手スポティファイの海外での成功要因をおさえることで、国内での定額音楽配信サービスが普及するための要件を考えたい

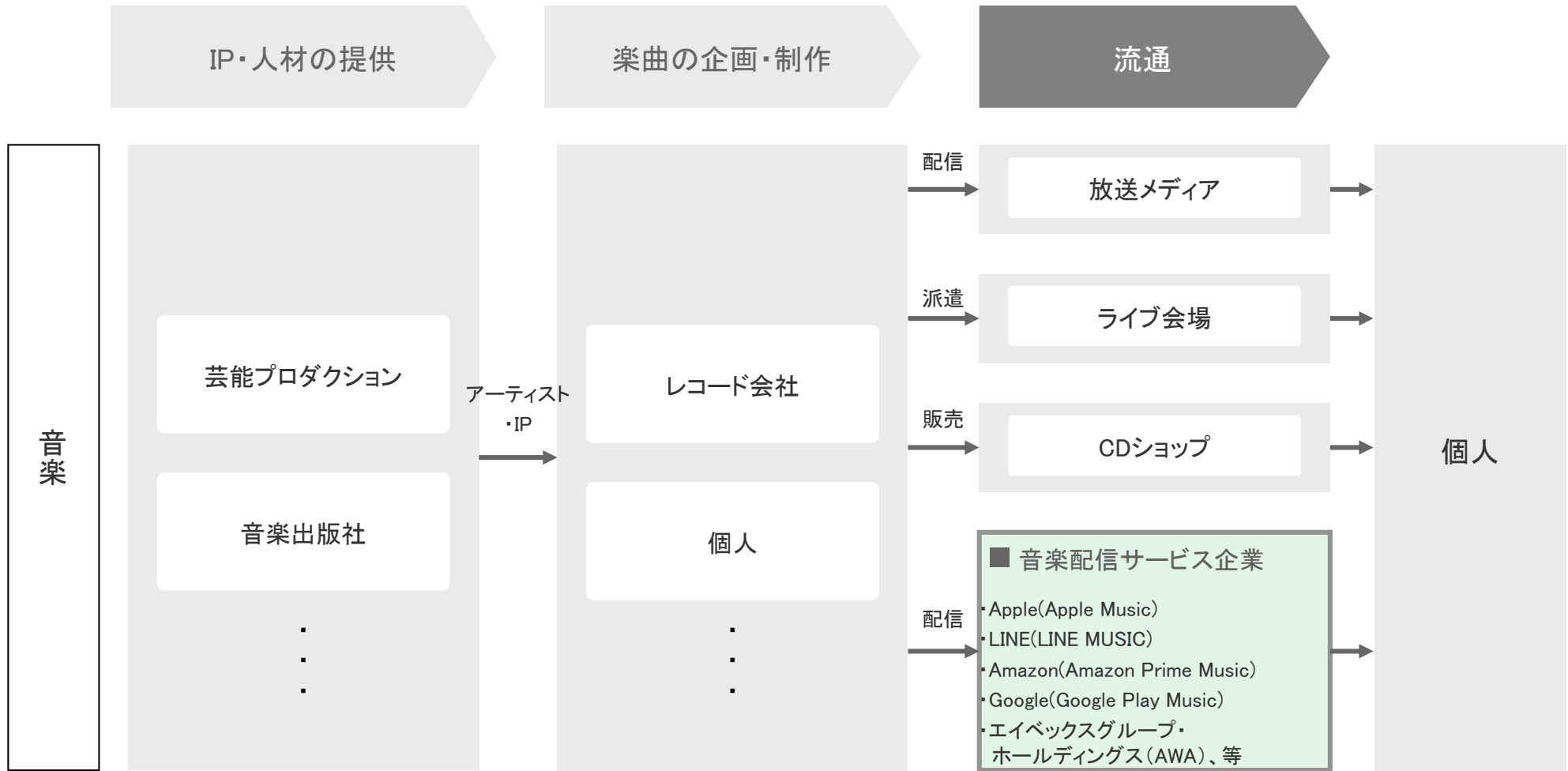
本資料の流れ



- I. 定額音楽配信サービスとは
- II. 定額音楽配信サービスの市場動向と先行する定額動画配信サービス
- III. 定額音楽配信サービス事業者の動向

音楽配信業界のバリューチェーン

- 音楽配信業界は芸能プロダクション・音楽出版社からアーティスト・IP(知的財産)の提供を受け、レコード会社や個人が楽曲を企画・制作しその楽曲を音楽配信サービスに配信する業界



音楽配信業界の収益モデル

- 音楽配信業界の収益モデルとしては、広告収入モデル、定額モデル、従量課金モデル(セルモデルのみ)の3つがあり、定額音楽配信サービスとは定額モデルのことを指す

		概要	主要なサービス
広告収入モデル		<ul style="list-style-type: none"> ■ 配信サービスを無料で利用できる代わりに、コンテンツの間に広告が挿入され、広告主からの広告収入で配信サービスを運営するサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Spotify ■ PANDORA ■ iHeartRadio、等
定額モデル (定額音楽配信サービス)		<ul style="list-style-type: none"> ■ 月額料金を支払うことでコンテンツをいくらでも視聴できるようになるサービス <ul style="list-style-type: none"> - サブスクリプションモデルの多くはストリーミングで視聴するが、ダウンロードして視聴する方式もある 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Google Play Music ■ LINE MUSIC ■ AWA、等
従量課金モデル	セルモデル	<ul style="list-style-type: none"> ■ 料金を支払ってコンテンツを購入し、そのコンテンツを永続的に利用できるようになるサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ■ iTunes ■ Google Play Music、等
	レンタルモデル	<ul style="list-style-type: none"> ■ 料金を支払ってコンテンツをレンタルし、そのコンテンツを一定期間利用できるようになるサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ■ なし <ul style="list-style-type: none"> - 動画配信業界では「Amazonビデオ」等が見られる

本資料の流れ

I. 定額音楽配信サービスとは



II. 定額音楽配信サービスの市場動向と先行する定額動画配信サービス

III. 定額音楽配信サービス事業者の動向

SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。
その成功の鍵や今後に言及し、「打ち手」を導出します。

